

## 情報共有覚書に基づく施設設備情報調査票記入要領

2020年3月26日(第7版)

災害時は通常個別の施設に供給を行っていない石油元売会社の大型タンクローリーが、皆様の施設へ石油製品の供給に向かう可能性があります。本調査票はその際の唯一の手がかりとなります。施設の図面等の情報、過去に供給を受けたことがある燃料供給業者等への確認等を通じて、可能な限り正確で網羅的な調査票の作成にご協力くださいますようお願いいたします。

別紙調査票記入例と照らし合わせてご覧下さい。

### <記入にあたっての注意点>

#### ○フォーマットの様式

施設設備情報を記入いただいた調査票 Excel ファイルは、石油連盟災害時情報収集システムの候補施設 DB システムに取り込んでデータベース化します。そのため、調査票 Excel ファイルには入力規則をかけて当方の意図しない編集を制限しています。調査票 Excel ファイルが改変されるとシステム登録ができなくなりますので、元のフォーマットから入力項目欄等の仕様を一切変更しないでください。なお、2枚目以降の構内図等のシートについては、印刷範囲の拡大のみ行うことができます。

#### ○必須入力項目

※印がある項目(下記(1)~(6)の赤網掛け項目)は当方のシステム登録上**必須入力**の項目です。

上記以外でもタンク情報、タンクローリー情報等燃料供給に関わる項目に記載漏れがあった場合、再度記入をお願いすることとなりますのでご注意ください。

#### ○ファイルの拡張子

システムでの処理の都合上、調査票 Excel ファイルは「Excel97-2003 ブック形式 (.xls)」、または「Excel ブック形式(.xlsx)」でなければなりません。

#### ○ファイルの提出

完成した調査票は電子媒体 (Excel ファイル) にてご提出下さい。

<各記入欄の入力上の注意事項>

※（ ）の番号は記入例で各欄に割り振られた番号と対応しています

(1) 調査日

調査日は「YYYY/MM/DD」形式(半角)で 10 桁の記入として下さい。(例：2016/01/01)

(2) 施設種別

当該施設情報を石油連盟との情報共有対象施設として候補施設データベースに登録する場合は「通常施設」を選択してください。

災害発生時に実際に供給要請を行う際、候補施設データベースに登録のない施設を一時的に登録する場合、「緊急施設」を選択します。「緊急施設」として登録された施設は災害対処終了後、候補施設データベースから削除されます。(したがって、平時は訓練を除き「緊急施設」を選択して登録することはありません。)

(3) 登録組織

情報共有の覚書を締結し、本調査票を取りまとめて提出する組織（自治体名等）をプルダウンから選択して下さい。

(4) 施設No.

(3)により、組織名称を選択すると上 3 桁の組織コード番号が自動入力されます。

下 5 桁については、施設種別が「通常施設」の場合は、90000 番台を除く 5 桁 (00001~89999) の番号を各重要施設に割り振って下さい(必ずしも通番である必要はありません)。

施設種別が「緊急施設」の場合は、90000 番台の番号を割り当てることになっていますので、万の桁を除く下 4 桁の番号を入力して下さい。

(5) 施設属性

当該施設の属性を下記の参考にプルダウンから選択して下さい。

施設属性	説明
病院・医療	病院、診療所、血液センター等の医療施設
警察	警察署、県警本部庁舎、運転免許センター等の警察機関が管理する施設
消防	消防署、消防本部庁舎、消防ヘリポート等の消防機関が管理する施設
行政庁舎	他の属性に分類できない行政施設（県庁・市役所・町役場・合同庁舎等）
自衛隊	防衛省・自衛隊が管理する施設
上下水道	上下水道局、浄水場、ポンプ場、下水処理場の上下水道施設
電力・ガス	電力会社・ガス会社等が管理する施設
通信	通信会社等が管理する施設
介護・福祉	老人ホーム等の高齢者や障害者等の福祉に関連する施設
海上保安庁	海上保安庁が管理する施設
避難所	災害時に避難所として活用されることが見込まれる施設

河川・ダム	河川管理事務所、排水機場、ダム等の河川やダムの管理に関連する施設
清掃・廃棄物処理	清掃工場や廃棄物処理場等のごみ処理に関連する施設
道路管理	一般道・高速道路の管理・運営に関連する施設（国道事務所、IC、SA等）
空港	空港及び空港の管理・運営に関連する施設（空港ターミナル、給油施設等）
鉄道・バス	鉄道・バスの管理・運営に関連する施設（バス給油施設、鉄道変電所等）
報道	放送局・新聞社・ラジオ局等が管理する施設
運送	トラック運送会社等が管理する施設（営業所、トラック給油施設等）
金融	金融機関等が管理する施設（銀行本・支店、データセンター等）
斎場	斎場、火葬場等の施設
その他	上記のいずれにも当てはまらない施設

(6) 施設名など(施設基本情報)

施設名 … 施設の正式名称をご記入下さい。記入例の様に右欄にふりがなを振って下さい。

施設名は 30 文字以内で記入して下さい。（ふりがなは 50 文字以内）

所在地 … 記入例の様に郵便番号、都道府県、市区町村以下につきセルを分けて記入して下さい。また、都道府県はプルダウンから選択し、市区町村以下は 45 文字以内で記入して下さい。

郵便番号は連続した 7 桁の数字で入力して下さい（〒マークおよびハイフンは自動入力されます）。

入力例) 「1234567」 ⇒ 自動変換で「〒123-4567」と表示されます。

設置主体…当該施設の設立者の区別(国立、都道府県立、市区町村立、私立)をプルダウンから選択して下さい。

担当部署…災害時に窓口となる担当部署を記入して下さい。

担当部署は 25 文字以内で記入して下さい。

担当者名…災害時に窓口となる御担当者を主・副 2 名記入して下さい。

担当者名は 10 文字以内で記入して下さい。（ふりがなは 20 文字以内）

※ 担当役職が決まっており、個人名より役職名の方が望ましい場合は役職名を記載していただいても結構です。

電話番号…代表電話番号には施設の代表電話番号を記入して下さい。主担当・副担当電話番号は担当者直通の電話番号を記入して下さい。個人直通の番号が無い場合は部署直通の番号を主担当電話番号欄に記入して下さい。（当該施設に対し政府を通じて燃料供給要請があった際に、こちらから確認の連絡をさせていただく場合がございます）

※ 調査票に存在する電話番号は「市外局番」-「市内局番」-「局番」の形式で入力して下さい。 入力例) 03-5218-2303

※ 電話番号欄に記入できる電話番号は 1 つまでですので、2 つ以上記入したい場合は備考欄をご活用下さい。

(7) 平時供給者

現在、当該施設に燃料の供給を行っている販売店とその販売店の電話番号、その販売店の属する系列石油元売会社をご記入下さい。公的機関等で毎年供給者が変わる場合は現時点の情報をご記入下さい。非常災害時、供給元売会社の決定の際に参考にさせていただきます。ご不明であれば、当該施設の販売店へご確認下さい。

平時供給者名は 30 文字以内で記入して下さい。

系列元売はプルダウンから選択して下さい。

(8) ローリーサイズ上限

荷卸しのために施設内の燃料タンク前の所定位置まで進入できるタンクローリーサイズの上限をご記入下さい。石油元売会社が使用するタンクローリーのサイズは小さいもので 14kl 積から最大で 28kl 積までサイズが分かれています。白油(ガソリン・灯油・軽油)と黒油(A 重油)とジェット燃料油は輸送するタンクローリーが異なります。白油タンクと黒油タンクが離れた場所にある場合もありますのでそれぞれの進入可能サイズ(整数、小数点以下は切捨て)を記入して下さい。

※タンクローリーサイズの詳細は付録 1. をご参照下さい。

※24kl 積みローリーは規格が 2 種類ございますが、ここには数字のみを入力いただき、車長の短い「新型」に限定される場合はその旨備考欄に記入して下さい。

(9) 保有ホース

施設側でタンクローリーと注油口を接続するホースをお持ちであれば、白油用(ガソリン・灯油・軽油)、黒油用(A 重油)、ジェット燃料油用別に、総延長(整数、小数点以下は切捨て)と本数を記入して下さい。

※例えば 3m の黒油用ホースを 2 本保有しているとした場合、記入例の様に本数 2(本)、総延長 6(m)となります。

※単位は入力しないでください。(例：3m の場合→入力「3」)

(10) 油種

タンクごとにプルダウンから選択して下さい。低硫黄 A 重油に限定する場合は「特 A 重油」を選択して下さい。硫黄分を問わない場合は「A 重油」を選択して下さい。

(11) タンク番号

当該タンクに固有の番号(もしくは名称)が振られている場合は 10 文字以内で記入して下さい。

(12) タンク容量(単位：kl)

当該タンクのキャパシティ(消防許可容量)を記入して下さい。

※消防許可容量⇒実容量が 10kl であっても消防許可が 9.5kl の場合は 9.5 と記入して下さい。

(小数点第 1 位まで入力可能、小数点第 2 位以降は切捨て)

※単位は入力しないでください。(例：40kl の場合→入力「40」)

### (13) 地下/地上

当該タンクが地下タンクか地上タンクかについてプルダウンから選択して下さい。燃料供給の際、地下タンクであればタンクローリーから重力による荷卸しが可能ですが、地上に設置されておりタンク側にポンプ機能が無い場合は、ポンプ機能の付いたタンクローリーが必要となります。

地下(ポンプ無)…地下に埋設されており、タンク側にポンプ機能が無い場合

地下(ポンプ有)…地下に埋設されており、タンク側にポンプ機能が有る場合

地上(ポンプ無)…タンクが地上に設置されており、タンク側にポンプ機能が無い場合

地上(ポンプ有)…タンクが地上に設置されており、タンク側にポンプ機能が有る場合

### (14) 配置

注油口の配置形式について、単独・集中・切替の別をプルダウンから選択して下さい。

単独…地下タンクと繋がっている地上注油口が一箇所ずつ離れたところに位置している場合

集中…複数の地下タンクの注油口がまとまって並んでいる場合

切替…複数の地下タンクに対し注油口が一個しかなく、切り替えスイッチにより各タンクに荷卸しする場合

### (15) 注油口ネジ名称・形式

注油口のネジ名称、ネジ形式の区別を記入して下さい。注油口の種類は大きく分けるとネジ込み式と接続が簡便なワンタッチ式がありますが、それぞれに多数の規格があり、規格に合うアタッチメントを持参しないとホースを接続して供給することができないため、これらの情報が必要となります。

#### [ネジ名称]

ネジ込み式の場合、通称インチネジと M ネジ(メートル細目ネジ)という 2 種類があります。インチネジは名称が多岐に亘りますが、M ネジには金具に「M」の刻印があり、M ネジの名称は「M○○(○は数字)」と表されます(M ネジの派生で外径がやや小さい A ネジという規格もあり、その場合は「A○○(○は数字)」と表されます)。

※ネジ名称の詳細は付録 2. をご参照下さい。

#### [ネジ形式]

ネジ形式については、ネジ込み式の場合は内ネジか外ネジかの区別を選択して下さい。ワンタッチ式の場合はワンタッチを選択して下さい。

※内ネジ…需要家タンク側メス ローリー側オス

外ネジ…需要家タンク側オス ローリー側メス

### (16) 注油口口径(単位：インチ=B)

注油口の口径(サイズ)をご記入下さい。

(小数点第 1 位まで入力可能、小数点第 2 位以降は切捨て)

※単位は入力しないでください。(例：2.5 インチの場合→入力は「2.5」)

(17) 通常のローリーサイズ (kl)

確実に入ることが確認できているローリーサイズの把握のため、通常の注油時に使用されているローリーサイズ(整数、小数点以下は切捨て)を記入して下さい。

※単位は入力しないでください。(例：20klの場合→入力は「20」)

(18) 使用ホース長

注油時に必要となるホースの目安として、通常の注油時に使用されているホース長(整数、小数点以下は切捨て)を記入して下さい。

※単位は入力しないでください。(例：3mの場合→入力は「3」)

(19) ホース保有箇所

通常の注油時に使用されているホースが、施設側で保管されているものか、ローリーが積載しているものを使用しているかプルダウンから選択して下さい。

(20) 在庫メーター

タンクの在庫メーターの種類を記入して下さい。

※メーターの例…液面計・デジタルメーター・検尺棒 等

(21) 照明設備

注油口周囲に照明設備があれば夜間の荷役も可能です。照明設備の有無をプルダウンから選択して下さい。

(22) 備考

通行、供給に関して注意事項があればご記入下さい。過去に納入実績のある平時供給者の情報があれば差し支え無い範囲で記入して下さい。

なお、改行は最大 15 行を目安とし、文字数は 1,000 文字以下として下さい。(印刷時に表示されない可能性があります)

(23) タンク配置図(構内図)

当該施設の燃料タンクの位置が判る構内図、及び入口～注油口～出口のルートを図示して下さい。また、幅員等も実測値をご記入お願いします。図面が横長の場合は回転して貼り付けていただいても結構です。エクセルファイルにて補足をご記入いただいた図面はお手数ですが表記ずれを防ぐために「グループ化」して一つの図となる様にして下さい。同一施設内で複数の燃料タンクが離れた位置にある場合は、図面を複数貼り付けていただいても結構です。その際スペースが足りなければ、印刷ページの範囲を下に伸ばして 2 ページ目を作成して下さい(印刷範囲を変えていただければ、何ページ作成されても構いません)。

※グループ化…PC の Ctrl キーを押しながら複数の図形をクリックして最後に右クリックしてメニューの中から「グループ化」を選択すると一つの図形となります。

(グループ化を解除して元に戻すこともできます)。

(24) 写真（タンクローリー停車位置／燃料タンク／注油口等）

停車位置、燃料タンク、注油口等について写真データを貼付して下さい。注油口については、写真から注油口が判別できるように4つのアングル（全体・キャップ・ネジ（ツメ）の部分・口径にスケールを当てた状態）で撮影したものを貼付してください。注油口の種類が複数ある場合は、それぞれについて4アングル分の写真を貼付してください。

写真の貼付は各枠内をダブルクリックして貼付することができます。また、ページを追加する場合はシート右上の緑色の「ページ追加」ボタンをダブルクリックしてください。

(25) 地図

当該施設周辺の地図、及びアクセスルート（一般道から入口迄の進入ルート）、必要に応じて注意点を図示して下さい。進入と退出でルートが変わる場合は両方記入して下さい。図面が横長の場合は回転して貼り付けていただいても結構です。エクセルファイルにて補足をご記入いただいた図面はお手数ですが表記ずれを防ぐために「(22)タンク配置図」と同様に「グループ化」して一つの図となる様にして下さい。図面を複数貼り付けていただいても結構です。その際スペースが足りなければ、「(22)タンク配置図」と同様にページを増やしてから貼り付けて下さい。

※「構内図」、「写真」、「地図」のシートはセル上に文字を入力することができません。文字を入力したい場合は、図形のテキストボックスを使用してください。

# 付録

## 【1. タンクローリーサイズ】

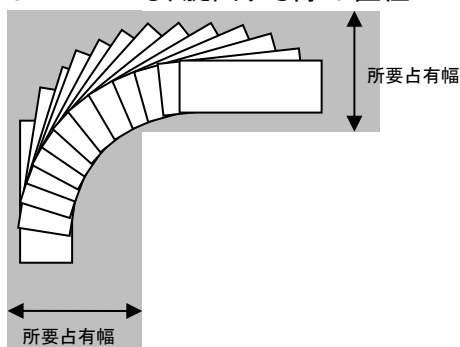
「(7) ローリーサイズ上限」 の記入に当たり目安となる積載量ごとのおおよそのサイズ

積載量	所要占有幅	全長	全高	全幅
14 kℓ	約6m	約9m	約3m	約 2.5m
16 kℓ	約6m	約 9.5m	約3m	約 2.5m
20kℓ	約 7.5m	約12m	約3m	約 2.5m
新型 24kℓ	約 7.5m	約 12.5m	約3m	約 2.5m
24kℓ	約8m	約14m	約3m	約 2.5m
26kℓ	約9m	約15m	約3m	約 2.5m
28kℓ	約9m	約16m	約3m	約 2.5m

※ 車両メーカーにより若干規格は異なります。

※ 「新型 24kℓ」とは従来の 24kℓ 積ローリーより小型化した新しい規格のタンクローリーです。

※ 所要占有幅とは、タンクローリーが 90 度旋回する際に、必要となる幅です。例えば 28kℓ ローリーの場合、車体の全幅は 2.5m でも、旋回する際は直径 9m の道路幅が必要となります。





## 【2. 注油口ネジ名称】

「(14) 注油口ネジ名称」の記入にかかる名称一覧表

ネジ込み式 (インチネジ)	ネジ込み式 (Mネジ)	ワンタッチ式	主な使用元売
JIS (PT・PF)	M64	旧モービル	
消防	M75	旧ゼネラル	
東急	M90	旧エッソ	
極東	M115	NM	旧日石
川西		NM-L	旧日石(大)・九石
タツノ		SI	出光(直)・全農
金剛		SI-301L	出光(L)
出光		T-80	昭和シェル・三井・旧 JOMO・キグナス
シェル		T-80L	コスモ(一部)
名古屋		T-100	旧三石、コスモ(主流)
共石		カムロック	
トキコ			

- ※ 上記表は主要な名称を列記したもので、全ての規格を網羅しているものではありません。
- ※ インチネジの JIS は「ガス山」、消防は「アラ山」という別称で呼ばれる場合があります。
- ※ JIS のうち、比較的新しいものは PT→「R」、PF→「G」と表記される場合があります。
- ※ ワンタッチ式では、その規格を主に利用している元売の名称が規格の別称となっている場合があります。例えば、正式名称は NM でも、主に旧日本石油で使用されていたため、「旧日石」と呼ばれることがあります。同じ元売でも複数のネジを使用している場合がありますので御注意下さい。
- ※ ネジの種類には、ネジ込み式・ワンタッチ式以外にも「フランジ式」等、全く別の規格がございます。しかし、石油タンクの注油口としては一般的ではなく、多品種であるため、詳細は記載しておりません。もし該当する場合は備考欄に詳細をご記入下さい。

以上